

第 340 回 RIST 月例フォーラム報告 (熊志会と若手研究者交流会)

令和元年 7 月に熊本県工業連合会熊志会とくまもと技術革新・融合研究会合同で、若手経営者および研究者の交流会を実施しましたので報告します。

- 1 目的：熊本県内企業の若手経営者と熊本県内の大学・高専および産業技術センターの若手研究者の交流を深め、今後の産学官連携のきっかけを作り、今後の産学官連携を促進させることを目的として開催する。
- 2 日時：令和元年（2019 年）7 月 30 日（火） 15:00～18:00
- 3 場所：SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto（熊本県熊本市北区飛田 3-5-8）
- 4 参加者：36 名（産 19 名、学 4 名、官 13 名）
- 5 内容：第 1 部 IoT、ドローンの取組紹介 15:05～16:30
株式会社倉岡紙工 倉岡和徳氏、株式会社コマンドディー 稲田悠樹氏より講演
第 2 部 ものづくり企業の課題解決ディスカッション 16:35～17:15
株式会社シマヅテック 島津竜太郎氏、株式会社サンワハイテック 山下義隆氏より話題提供、会場も交えた課題解決ディスカッション
第 3 部 情報交換会 17:15～18:00
SOCKET 内にて SOCKET の見学、意見交換
- 6 概要：RIST 会員企業である株式会社ワイズ・リーディングが運営するニーズとシーズをつなぎイノベーションを生み出す場「SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto」にて、熊本県工業連合会熊志会との交流を行った。IoT やドローンの取組事例の紹介と、それらの知識、技術、ノウハウを、ものづくり現場の課題解決に活かすため、それぞれの立場での講演、課題発表を行った後、SOCKET 内にて自由な意見交換を行った。新しい技術の周知や提案、課題解決のアイデア等、活発な議論が行われた。



熊志会と若手研究者交流会の詳細

- 1 目的 熊本県内企業の若手経営者と熊本県内の大学・高専および産業技術センターの若手研究者の交流を深め、今後の産学官連携のきっかけを作り、今後の産学官連携を促進させることを目的として開催します。
今回は株式会社ワイズ・リーディングが運営するニーズとシーズをつなぎイノベーションを生み出す場「SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto」にて、IoT、ドローン技術を利用して、県内ものづくり企業の課題解決につなげることを目的としています。
- 2 日時 令和元年（2019年）7月30日（火） 15:00～18:00
- 3 場所 SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto（熊本県熊本市北区飛田3-5-8）
- 4 主催 熊本県工業連合会、くまもと技術革新・融合研究会（RIST）、熊本県産業技術センター、くまもと産業支援財団
- 5 幹事 熊志会 株式会社サンワハイテック 代表取締役社長 山下義隆
熊本大学 工学部 情報電気電子工学科 准教授 伊賀崎伴彦
熊本県産業技術センター ものづくり室 研究主任 山口良一
- 6 参加者 36名
産（熊本県工業連合会熊志会、RIST 会員企業） 19名
学（熊本県内大学・高専 研究者） 4名
官（県、市、財団関係者） 13名
- 7 次第
開会 熊本大学 末吉特任教授（RIST 会長）
第1部 IoT、ドローンの取組紹介 15:05～16:25
・「木型を負債から資産に！！」IoTを用いた木型の管理と活用
株式会社倉岡紙工 統括部長 倉岡 和徳 氏
・「ドローン動向 2020」
株式会社コマンドディー 代表取締役 稲田 悠樹 氏
第2部 ものづくり企業の課題解決ディスカッション 16:35～17:15
(司会：株式会社オジックテクノロジーズ 金森 元気氏)
・「AIによる付随作業の高度化へのご相談」
株式会社シマツテック 専務取締役 島津 竜太郎 氏
・「メカ設計効率化のツールについて」
株式会社サンワハイテック 代表取締役社長 山下 義隆 氏
会場も交えた課題解決ディスカッション
第3部 情報交換会 17:15～18:00
SOCKET 内にて SOCKET の見学、意見交換
閉会 株式会社サンワハイテック 山下社長（熊本県工業連合会熊志会会長）